

畑日記

秋葉 健太

仕事始めの2日後、雪が降りました。東京では4年ぶりの積雪となり、畑も一面真っ白。翌日には雪だるまでもつくろうかしら、と思っていたら、皆さん真面目で、畑に到着してすぐに積極的に雪かきを始めました。不真面目な私は、こそっと雪だるまを作ろうとはしたものの、すぐに怒られてしまいました。残念。

今回の雪、東京にしては積もったとはいえ、日光がしっかり当たるところは半日で溶けてしまいましたね。その程度でも、地植えしている1年草の花には結構な影響がありました。少しだけ下を書きます。皆さんのガーデニングの参考になれば幸いです。

まず、ヒオラ・パンジーは多少弱っているものもありましたが、大体の場所で生き残りました。アリッサムは早朝からしっかり日光が当たる場所を除いて全滅で、やはり白色が一番強い。金魚草は、日光がそれなりに当たる場所でも雪の冷たさで弱ったものもあれば、逆に日陰時間の方が長い場所でも元気に咲いているのもあり、正直よく分かりませんでした。今回再確認したのはナデシコの強さです。どの場所でも雪によるダメージはほとんど感じませんでした。ナデシコの安定感はさすがで、冬に植える花としてナデシコを今後も強く推していきたいと思います。葦の会での仕事の良いところの一つは、足立区内でも環境が少しずつ違う場所に植えた植物の経過をこうして観察できることだと思います。そこで得たものは植物を育てるのに役立ちますが、地域学習センターで行っている講座参加者からの、植物の疑問に答えることにも役立ちます。その為には、観察した物事の記録が大切です。また、記録を豊かにするためには植える仕事が増えるとよいのですが、ありがたいことに新たに千住の方で仕事をいただきました。

ただ、ここが小心者の私らしいところなのですが、新規の場所は未だにすごく緊張します。なぜなら、植える仕事では苗の代金はもちろんですが、主に技術（苗の選別や配置による魅せ方など）に対して皆さんはお金を支払って下さると私は考えているからです。ここが、やはり難しく、今回も腐葉土や肥料の混ぜ込みは一緒に行った吉村遼さんや依頼者の方に助けていただき、私は早々に綺麗に魅せるにはどう植物を植えたらよいかを考えることに集中しました。こういう時、遼さんは頼んだ仕事をしっかりと行い、終わったら声をかけてくれるので助かります。おかげで、依頼者の方からお褒めの言葉をいただけるだけの仕事をすることができました。

そんな感じで、帰りの車内で私は一安心していたのですが、なんととはなしに遼さんに「今日の仕事はどうでした？」と聞くと、しばらく黙って「う〜ん、分かんない」と遼さん。依頼者とも何度か会話しており、比較的今日は楽しい方だったかなと思ったのですが。まあ遼さんらしいかなと思

いつつ、さらに聞いてみるとあまり好きではない時の仕事はスッと言葉にするのですが、楽しい時の仕事はあまり口にしませんでした。「好きじゃない時と比べるとどう？」と聞くと、「今日の方が良かった」とは答えてくれましたが、手放して「楽しい」と思ってくれるにはどうしたらいいかなあ、と思いました。さあ、今年も一年楽しいお仕事をいっぱいしましょう！！



あしの家だより



【西新井ホーム】

石井 路代

あけましておめでとうございます。

昨年コロナ感染者が一桁台に減り、新しい年に希望が見えていましたが、お正月明けより感染者の激増に気落ちする日々です。でもメンバーの明るい笑顔に癒されて仕事する事が出来ています。

令和 4 年西新井ホームのお正月の様子をお話しさせていただきます。裕さんはお家でゲームを楽しまれたそうです。勝さんは近くのマーケットやコンビニへ買い物に行ったり、わんちゃん（ゆうちゃん）の散歩をしたり、夕食時お父さんとビールを飲んだりされたそうです。奥さんは今年お正月を楽しむ事はできないけれど、おせちは食べたそうです。和也さん・明久さんは、ティータイムをお母さんと一緒に楽しむことができました。服部さんは浅草へ行ったそうです。中原さんはホームで初めて年越しをされました。仁さんはガイドヘルパーさんと一緒に、暮れに外出され、車内で童謡を歌い、公園で大好きな助六寿司を食べてきました。

ホームで過ごされたメンバーも、お家へ帰ったメンバーも、いつものようにとはいきませんが、それぞれに楽しむことができたようです。

オミクロン株の感染が猛威を振るっていますが、引き続き、手洗い・うがい・マスク・ソーシャルディスタンスを保ち、この難局を皆で乗り越えて行きましょう。



【西伊興ホーム】

土屋 裕美

今年も穏やかな1年の始まりを迎えられ、メンバーも健康で過ごせている事に感謝しています。

女子メンバーのお正月はのんびりと過ごし、人の多い場所は避けながら散歩に行ったり、入江さんに買ってきてもらった、水でくっつくビーズで作品を作ったり、かるたやトランプをして過ごされていました。ビーズはとっても楽しいようで、まだまだ作品は増えそうです。安倍さんと増田さんは鏡餅を部屋に飾っていたので、鏡開きに揚げ餅とお汁粉を美味しく食べられていました。



男子メンバーは自宅で新年を迎え、家族とのんびりと楽しい時間を過ごせたようです。メンバーみんな、毎日寒い中、元気に「行ってきます！」と作業所に向かう姿は、自分も頑張ろうと気合いが入り元気をもらっています。

今年は雪が積もる事もあり、まだまだ寒い日が続きますが、みんなが健康で笑顔で過ごせる毎日でありますように…！今年も宜しくお願い致します。

カルチャー教室 今後の予定

さをり	2月19日・26日	陶芸	2月12日・26日
習字	2月 2日・16日	水彩画	今月はお休みです

< 花売り情報 >

2月 3日（木）・15日（火）竹ノ塚センター

2月 9日（水）ビッグ・エー花畑店

2月10日（木）ベルクス南花畑店

2月16日（水）ビッグ・エー南花畑店

2月17日（木）ベルクス古千谷店

奥君日記より (2022年1月)



- 4日 さて、今日でお正月休みも終わり明日から仕事が待っている。それにしても今年のお正月はいつもと違って、寂しい我が家になった。母が亡くなって、兄と俺の二人だけになってしまった。お早う！お休み！ご飯美味しかった？ テレビ付けようか？ ラジオ聞こうか？ と「まん丸顔の母の写真に話しても返事がない、当たり前のことだけれど。その写真の母の顔は写真タテから出てきそうな感じ！ お線香とロウソクが揺れているこの部屋は、母が好きだったラジオ放送が流れている。皆、同じに思うかも知れないが、他人は死んでも自分の親は絶対に死なないもの！いつまでも居ると思ってしまう。
- 6日 今日は皆で作業所だ。箱は「俺・大山・松本・桑原・松村・大久保・明久・水越・村田さん」俺にとって嬉しかったのは「久保君が出てきた事」良かったと思う。そして今日は雪が降り出してきて、普段より早めに帰った皆！
- 8日 昨日雪のため畑は行かずに皆で内職や木箱作りの仕事をやった。来週は「成人の日」があるため、火・水・木・金の4日体制の仕事になる。あと何束作れば良いのか分からないが、ネギの枠が置けない程になっている。
- 11日 雨の畑では「ヤブラン」の刈り込みをする。珍しくこの仕事で榎崎さんに褒められた俺だった！
- 12日 昨日とは違って良い天気になった。昨日休んでいた久保君も今日は来ている畑仕事だ！畑では「内ビニール」を張った。この仕事は背の高い桑原君や松村君が居てくれて助かった様だ。花田君や俺がもう少しだけ背が高かったら榎崎さんも楽になるのだが、簡単そうで難しかった。俺達の方まで、内堀さんも手伝ってくれて嬉しかった。そして、昨日の続きで「ヤブランの刈り込み」もした。午後は作業所の3階で、運動をする。エグザエルの曲で踊った！東京ベルディーの人達と！
- 13日 俺は畑で、榎崎さん秋葉さん達と「ビニールハウス内にある、アルミの花台」の歪みを直す仕事をやる。緩んでいるネジを強くする。越前屋さんは、自分から「赤土をやりたい」と立候補する。偉いと思う！歪みの仕事は明日もあるらしい。
- 15日 久々に兄と銀座へ「イトウヤ・丸善・高島屋」帰りは浅草寺へ「おみくじを引く、末吉だ！」「兄は大吉、だって！」
- 19日 今日は後半に音楽があった、石川先生だ。村田さんも大山君も大体知っていた、歌を歌った。内職も慣れてきたら終わってしまい検尿カップの内職に移った。
- 21日 午後からの陶芸は、「色付け」だ、割と多くあった作品は田沢さんに手伝ってもらった。さすがにカルチャー陶芸部員だと思う。田沢さんは、自分の作品よりも丁寧にやってくれた。
- 23日 ここの所、新型コロナウイルスが多いので自宅に帰っても、テレビ三昧だ。女子駅伝や以前録画しておいた面白い番組を見ていた今日だ！そう言えば、夜遅くにやる、テレビは面白いと思う。



【看護師釜本さん、ありがとうございました】

2016年10月から5年と2ヶ月、看護師としてメンバーの身体や心に親身になって寄り添い、また、コロナ過での作業所内での様々な対策を中心になって進めてくださった看護師の釜本さんが、ご家庭のご都合により昨年末をもって、退職されました。釜本さんはメンバーだけでなく職員的心にも寄り添ってくださいました。本当にありがとうございました。1月からは嶋原（しぎはら）さんが勤めてくださっています。嶋原さんのご紹介は次号で！お楽しみに(^_-)

作業所日記

吉井 祐気

年が明けて早くも1ヶ月が経ちました。昨年12月はコロナが収まりかけていましたが、正月が過ぎると新しい変異オミクロン株の感染がどんどん増えて、また蔓延防止措置が実施されました。今年こそは開催できるかと思っていたボランティア祭りを始め、春の様々なイベントが中止になってしまいました。

作業所は新しい年も忙しく、箱折りや検尿の中身入れなどの作業を毎日忙しくしています。先月も忙しかったですが、コロナ感染者が増えたとは言っても今のところは仕事があり、ありがたいです。検尿の中身入れは1年を通して定期的に仕事をもらっていますが、この季節は、ギフトの箱折りやバレンタインチョコの箱折りが多くあります。ただこれから消費が落ち込むことになると、1ヶ月、2ヶ月先にどうなるかはわかりません。しかし、いまある作業をしっかりとやっていきます。



自転車清掃は今月20台で、前回とあまり変わりませんでした。最近メンバーが以前と比べて、細かなところまで清掃するのがうまくなりました。比較的汚れが目立つ自転車でもしっかりと仕上げています。時間的にはやはり、古い乗りこなした自転車のほうがかかります。自転車店に届けた時にお店の方が「店の外で自転車に鍵をかけなかったら2台盗まれた」と言っていました。私もできる限り鍵をかけるようにしています。みなさんも自転車から離れるときは鍵をかけましょう。

また公園清掃では今月中旬は風が強く寒い日が多く、晴れていても延期にすることがありました。風邪でゴミが飛んできてひっかかるのか、生垣の中に多くゴミが見つかります。枯れ枝が落ちていることもあります。朝は寒いですが日中は多少暖かくなって、外での作業はありがたいです。

1月6日(木)に10センチ近くのスノーフールが降りましたが、あの時は帰宅するのに苦労しました。舍人ライナーは止まり、都バスもあまり動いておらず、尾久橋通のバス停に長い列ができていました。次の朝はすっかり凍っていて、皆が転んでけがしないかと心配しました。もうこのような雪は降ってほしくないと思いました。雪が降るのも心配ですが、やはりオミクロン株のコロナ感染者が増えているのも心配です。身近な人が感染すると自分も感染するのではないかと不安になります。感染することよりも後遺症が怖いです。したがって手洗い、うがいはよくしますが、それでも感染した時はしょうがないとも思っています。コロナが流行して2年経ちますが、このウイルスは今までの習慣や風習を変えていくと思います。例えば葬儀が大勢から家族単位になったり、それに付随する



物やお金に変化したり。作業所の内職ではそういった箱詰めも行っているので気になるところです。仕事をリモートワークにするというのは、作業所では考えづらいですが、世の中は変わっていくかもしれません。作業所もコロナによる変化に対応しながら、今まで以上に元気に作業していきたいです。健康であってこそ仕事ができるので、手洗いなどして、みなさんも健康に注意して過ごしましょう。

編集後記

年明け早々からのコロナウイルスの爆発的感染拡大で、再び緊張と不安と我慢を強いられた1月が終わりました。今年こそ少しずつイベントも復活できるか！と思っていたのですが、とにかく皆で元気に楽しく過ごせるよう努めましょう！さて、今月はお正月に読んだ本の紹介です。映画化された「護られなかった者たちへ」(映画は観ていませんが) どんでん返しの帝王と呼ばれる中山七里さんの、震災と貧困をテーマにした社会派ミステリー。最後に事件の真犯人は分かりますが、それではすっきりしない。本当の犯人は人ではなく、社会制度、社会の有様、そして「人に迷惑をかけてはいけない」という呪縛なのではないか。護られるべき人が護られていないという結末が重くのしかかります。でも真犯人がSNSに残した言葉に、絶望の中でも生きていく希望も見えてきます。吉井さんも書いていますが、変わっていく世の中に対応しながら、より良く変える、変わるよう皆ですすんでいきたいですね。陽ざしも明るさを増してきました。季節も心も…は～るよ来い！(*^*)v(池田)